

令和 2 年度

事業報告書

社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会



# 目 次

I 総括	1
II 理事会・評議員会等開催状況	2
III 専門部会活動	4
1 企画財政部会	4
2 地域福祉部会	4
3 児童福祉部会	4
4 調査広報部会	5
IV 校区社協活動	6
1 各校区の実績	6
2 小地域ネットワーク	10
3 ミニサロン	10
4 給食ボランティア事業	10
V 地域福祉事業の推進	11
1 安心生活応援団	11
2 買い物支援事業	11
3 ふれあいサービス	11
4 ファミリーサポートセンター	12
5 暮らし見守り相談員事業	12
6 生活支援体制整備事業	13
7 人吉球磨成年後見センター	17
8 地域福祉権利擁護事業	20
9 生活困窮者自立相談支援事業	21
10 生活福祉資金貸付	21
11 小口福祉資金貸付	22
12 社会福祉のつどい	22
13 地域支え合いセンター	23
VI ボランティア活動及び福祉教育の推進	25
1 児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進	25
2 ボランティアセンター登録状況	25
3 災害救援ボランティア養成事業	26
4 球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練	26
5 災害ボランティアセンター	26

VII 在宅福祉サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

- 1 デイサロン事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 2 地域包括支援センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 3 居宅介護支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 4 訪問介護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 5 障害者総合支援法関係事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

VIII 共同募金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

- 1 赤い羽根共同募金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 2 歳末たすけあい運動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

IX その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

- 1 人吉市総合福祉センター利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 2 介護用機器の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 3 善意銀行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 4 各種団体の事務局・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

X 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

- 1 会費の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 2 寄附・香典返し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 3 団体等の受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 4 実習生の受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

## I 総括

平成から令和へ新しい時代に入り、本会では「地域の福祉力を高め、地域で支え合う体制づくりを推進する」を基本目標に掲げ、地域福祉の中核団体として住民参加や協働による福祉活動の支援を行い、住民ニーズに応じたきめの細かい事業展開を目指しました。

また、今年度は第3次地域福祉活動計画の初年度にあたり、人吉市が策定した地域福祉計画と校区社協活動計画の三つの計画を一体的に運用し、事業の推進にあたっては、行政・共同募金会などの関係機関及び校区社協、町内会長連合会、民生委員児童委員協議会、くらし見守り相談員連絡協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会など多くの団体・個人の協力により地域共生社会の実現を目指しました。

しかし、年度当初から新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が発令されるなど、地域活動・社会生活にとって最も重要な、人が動くこと、人が集まることが大きく制限される結果となり、多くの事業が中断、休止を余儀なくされました。

さらに、7月には豪雨に見舞われ、市街地一帯を中心に球磨川が氾濫し、両岸地域が大きな浸水被害を受けました。本会は、発災直後から災害ボランティアセンターを立ち上げて被災家屋の応急復旧にあたるとともに、10月末に地域支え合いセンターを立ち上げ被災者の皆さんの生活再建の相談支援にあたっていますが、コロナ禍による活動制限もあり、復旧復興はまだ道半ばです。

### ■事業計画に掲げた重点項目の推進■

- 1 地域支援の充実
- 2 福祉相談・援助事業の推進
- 3 在宅福祉サービス事業の推進
- 4 ボランティア活動の推進
- 5 法人運営の基盤強化

事業計画では上記5つの重点項目を掲げ推進を目指しましたが、前述のように水害の事後対応に忙殺され、またコロナ禍のため主要事業が中断、休止に追い込まれたため、基本的な日常活動しか行えず、当初計画したような発展的な活動推進はほとんどできませんでした。

## II 理事会・評議員会等

### 1 理事会

開催日	出席者	会議の内容
令和2年 6月5日	10名	<p>令和元年度人吉市社会福祉協議会第3次流用予算の専決処分について（報告）</p> <p>令和2年度人吉市社会福祉協議会第1次流用予算の専決処分について（報告）</p> <p>令和2年度人吉市社会福祉協議会第2次流用予算の専決処分について（報告）</p> <p>①令和元年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告</p> <p>②令和元年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会収支決算監査報告</p> <p>③令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について</p> <p>④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会理事及び監事選出に関する規定の一部改正について</p> <p>⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員給与・退職手当規程の一部改正について</p> <p>⑥社会福祉法人人吉市社会福祉協議会嘱託職員・臨時職員就業規則の一部改正について</p> <p>⑦社会福祉法人人吉市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</p> <p>⑧社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</p> <p>⑨社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>⑩評議員選任・解任委員会の開催について</p> <p>⑪令和2年度第1回評議員会の開催について</p> <p>令和元年度人吉市善意銀行事業報告</p>
令和2年 9月30日	10名	<p>①人吉市地域支え合いセンター事業の受託について</p> <p>②令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について</p> <p>③評議員会の開催について</p> <p>人吉市災害ボランティアセンター活動報告</p>
令和3年 1月31日 (書面審議)		<p>①令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について</p> <p>②令和2年度第3回評議員会の書面審議について</p>
令和3年 3月23日	10名	<p>①令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次補正予算案について</p> <p>②令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について</p> <p>③令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について</p> <p>④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会嘱託職員・臨時職員就業規則の一部改正について</p> <p>⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所嘱託職員就業規則の一部改正について</p> <p>⑥役員等賠償保険契約の承認について</p> <p>⑦社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員会の開催について</p> <p>令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第5次流用予算の専決処分について</p> <p>第3次人吉市地域福祉活動計画の進捗及び評価について</p>

## 2 評議員会

開催日	出席者	会議の内容
令和2年 6月24日	16名	令和元年度人吉市社会福祉協議会第3次流用予算の専決処分について（報告） 令和2年度人吉市社会福祉協議会第1次流用予算の専決処分について（報告） 令和2年度人吉市社会福祉協議会第2次流用予算の専決処分について（報告） ①令和元年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告 ②令和元年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会決算報告監査報告 ③令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会理事の選任について
令和2年10月8日	17名	①人吉市地域支え合いセンター事業の受託について ②令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について 人吉市災害ボランティアセンター活動報告
令和3年 2月 8日 (書面審議)		①令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について
令和3年 3月30日	12名	①令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次補正予算案について ②令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について 令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第5次流用予算の専決処分について 第3次人吉市地域福祉活動計画の進捗及び評価について

## 3 評議員選任・解任委員会

開催日	出席者	会議の内容
令和2年6月12日	5名	人吉市社会福祉協議会評議員の選任について
令和3年2月21日	5名	人吉市社会福祉協議会評議員の選任について

## 4 監査

開催日	出席者	会議の内容
令和2年 5月22日	2名	令和元年度 業務執行状況並びに経理状況について
令和2年12月 7日	2名	令和2年度 上半期業務執行状況並びに経理状況について

### Ⅲ 専門部会の活動について

#### 1 企画財政部会

開催日	出席者	会議の内容
令和2年5月26日	9名	①令和元 年度人吉市社会福祉協議会第3次流用予算書の専決処分について(報告) ②令和2年度人吉市社会福祉協議会第1次流用予算書の専決処分について(報告) ③令和2年度人吉市社会福祉協議会第2次流用予算書の専決処分について(報告) ④令和元年度人吉市社会福祉協議会事業報告 ⑤令和元年度人吉市社会福祉協議会収支決算 ⑥令和2年度人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ⑦令和元年度人吉市善意銀行事業報告 ⑧令和2年度第53回人吉市歳末たすけあい演芸会の開催について
令和2年9月23日	6名	①人吉市地域支え合いセンター事業の受託について ②令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について
令和3年3月16日	7名	①令和2年度社会福祉法人人吉市社会第4次補正予算について ②令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について

#### 2 地域福祉部会

コロナ禍と豪雨災害により、地域を担う人材育成のための講座開催の企画を進めることはできませんでした。令和3年度は、被災後の復興に向けて地域として何ができるかを考えるため、人吉市災害復興ボランティアセンターと地域支え合いセンターを軸として取り組んでいきます。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和2年6月18日	3名	第1回地域福祉部会三役会 地域を担う人材育成のための講座開催について
令和3年3月19日	2名	第2回地域福祉部会三役会 人材育成のための講座開催についての検討と次年度の部会活動について

#### 3 児童福祉部会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏のボランティア体験行事は中止となりましたが、児童に向け福祉読本の作成を計画し取り組みました。しかし、7月豪雨災害の影響により編集を継続することが困難となり、令和2年度中の完成には至りませんでした。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和2年4月7日	3名	第1回児童福祉部会三役会 ①令和元年度事業報告・令和2年度事業計画(案)について ②令和2年度夏のボランティア体験行事等について ③児童福祉部会開催について
令和2年5月15日	3名	第2回児童福祉部会三役会 ①令和2年度夏のボランティア体験行事等について ②第1回児童福祉部会について
令和2年5月25日	12名	第1回児童福祉部会 ①夏のボランティア体験行事等について



開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和2年6月3日	3名	第3回児童福祉部会三役会 福祉読本について
令和2年6月3日	11名	第1回福祉読本編集会議 ①福祉読本について
令和2年6月15日	13名	第2回児童福祉部会 ①福祉読本について
令和2年6月22日	11名	第2回福祉読本編集会議 福祉読本について
令和2年8月27日	3名	第4回児童福祉部会三役会 ①福祉読本について
令和2年10月13日	13名	第4回児童福祉部会 ①今後の活動について

#### 4 調査広報部会

タイムリーな福祉情報を届けるため隔月（年6回・8ページ）に発行し、社協が行っている事業やサービスの案内に加え、様々な地域活動の取り組みも紹介しました。災害発生に伴い9月号を発行することはできませんでした。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和2年4月6日	9名	社協だよりNO. 200号初校
令和2年4月15日	3名	社協だよりNO. 200号二校
令和2年4月22日	3名	社協だよりNO. 200号三校
令和2年5月1日		社協だより No.200号発行
令和2年6月4日	13名	社協だよりNO. 201号初校
令和2年6月11日	3名	社協だよりNO. 201号二校（三役）
令和2年6月18日	3名	社協だよりNO. 201号三校 社協だよりNO. 202号企画検討会議（三役）
令和2年7月1日		社協だより No.201号発行
令和2年10月22日	3名	社協だよりNo.202号二校（三役）
令和2年11月2日		社協だより No.202号発行
令和2年12月10日	7名	社協だよりNo.203号初校
令和2年12月15日	3名	社協だよりNo.203号二校
令和2年12月22日	3名	社協だよりNo.203号三校
令和3年1月15日		社協だより No.203号発行
令和3年1月27日	2名	社協だよりNO. 204号初校
令和3年2月3日	3名	社協だよりNO. 204号二校（三役）
令和3年2月12日	3名	社協だよりNO. 204号三校 社協だよりNO. 205号企画検討会議（三役）
令和3年3月30日	7名	社協だよりNO. 205号初校

## IV 校区社協活動

### 1 各校区の実績

各校区社協では、少子高齢化、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、校区内の町内会、民生児童委員、くらし見守り相談員などの関係者が連携して、小地域ネットワーク活動、ミニサロン、老人給食ボランティア、子ども食堂等を実施する他、生活支援体制整備事業の取り組みも地域の特色を活かして事業を進められています。今年度はコロナや7月の豪雨災害により、活動が制限されましたが、そのような中でも可能な限り活動を継続しました。

#### ①東校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月23日（土） コロナ禍により中止、書面議決
役員会等	開催回数 15回
監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 9日（木） ・会計監査</li> <li>4月20日（月） ・総会打ち合わせ</li> <li>5月13日（水） ・総会資料確認</li> <li>5月26日（火） ・臨時役員会、総会資料、書面発送</li> <li>6月15日（火） ・今後の事業推進について</li> <li>10月19日（月） ・地域情報交換</li> <li>10月27日（火） ・協議体発会式、生活協力援助事業推進に向けた対応</li> <li>11月16日（月） ・地域情報交換、生活支援体制整備事業への対応</li> <li>12月21日（月） ・社協だよりについて、生活支援体制整備事業推進について</li> <li>1月18日（木） ・社協だよりについて</li> <li>2月15日（月） ・社協だよりについて、熊本学園大学ボランティア活動への協力参加について</li> <li>3月15日（月） ・行事報告、監査、総会について</li> </ul>
ボランティア活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月17日（火） ・仮設住宅との交流支援（熊本学園大学福祉学部）</li> <li>11月24日（火） ・仮設住宅との交流支援（熊本学園大学福祉学部）</li> </ul>
ネットワーク推進会議 （町内単位で開催）	田町（1回）、南寺町（2回）、二日町（1回）、七日町（2回） 五日町（2回）、上新町（1回）、下新町（2回）、北願成寺町（2回） 南願成寺町（2回）
ミニサロン （町内単位で開催）	上新町（2回）、南願成寺町（1回）
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月29日（金） ・高齢者支援課と、生活支援体制整備事業拠点についての協議</li> <li>12月11日（金） ・中小企業大学校にて発会式</li> </ul>
主催行事	3月27日（土） ・ノルディックウォーキングスポーツ大会（仮設住宅入居者との交流行事） （相良護国神社境内、城跡周辺）
子どもと高齢者の交流事業	コロナ禍により実施なし
校区社協だより発行(1回)	R3年4月1日

②西校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月29日(金) コロナ禍により理事のみの出席
役員会等 監査	4月22日(水) ・会計監査 5月15日(木) ・役員会及び理事会 10月16日(土) ・理事会
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	城本町(2回)、瓦屋町(2回)、井ノ口町(2回)、中青井町(1回) 上青井町(1回)、駒井田町(2回)
ミニサロン (町内単位で開催)	城本町(2回)
生活支援体制整備事業 6月4日(木) 6月11日(木) 6月25日(木) 7月2日(木) 11月5日(木) 11月26日(木) 12月3日(木) 12月10日(木) 12月17日(木)	・ニコニシ支え合い部会 定例会 ・ニコニシ支え合い部会 ホウ酸団子作り 20名参加 ・ニコニシカフェ 16名参加 ・ニコニシ支え合い部会 定例会 ・ニコニシ支え合いセンター再開(土間にて円卓を囲んで) ・ニコニシカフェ 16名参加 ・ニコニシカフェ 10名参加 ・ニコニシ支え合い部会 ・ニコニシ支え合いセンター開所  ※7月の豪雨災害により拠点が被災したため、災害NGO結による応急修理や家具設置等を行い復旧しました。
地域ふれあい福祉事業	合ノ原町: 地域サロン(よけまん会) 井ノ口町: 八幡さん清掃 瓦屋町: 縁がわサロン(かたらんね~)
子育て支援事業 (ニコニシ食堂) ※コロナ禍により 弁当配布とする	・6月13日(土) ニコニシ食堂 スタッフ13名、弁当65食配布 ・11月14日(土) ニコニシ食堂 スタッフ14名、弁当100食配布 ・2月27日(土) ニコニシ食堂 スタッフ14名、弁当100食配布 ・3月27日(土) ニコニシ食堂 スタッフ10名、弁当100食配布

③東間校区

行事名	主な内容
校区社協総会	4月30日(月) コロナ禍により中止、書面議決
役員会等 監査	開催回数2回 4月29日(水) ・会計監査 5月4日(月) ・研修先検討、事業中間報告 6月19日(金) ・役員会 9月25日(木) ・役員会
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	西間上町(1回)、西間下町(2回)、古仏頂町(2回)、藪野町(2回) 東間上町(2回)、浪床町(1回)、赤池原町(1回)、赤池外園町(1回)
ミニサロン	コロナ禍、7月の豪雨災害により中止
老人給食ボランティア	コロナ禍、7月の豪雨災害により不定期開催となった。 4月6日 対象者数30名、ボランティア数16名 12月21日 対象者数29名、ボランティア数13名 1月12日 対象者数26名、ボランティア数11名 2月15日 対象者数27名、ボランティア数12名 3月1日 対象者数29名、ボランティア数14名 3月15日 対象者数32名、ボランティア数14名 実施回数計6回、対象者計173名、ボランティア計80名
子育て支援事業	新生児お祝い品進呈 5町内27名
子ども育成事業	七地町: 門松作り 田野町: どんどこや
校区社協だより発行(1回)	3月1日発行

## ④大畑校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月10日(日) コロナ禍により中止、書面議決
役員会等	開催回数12回
監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月10日(金) ・30年度事業報告書作成、総会について</li> <li>4月19日(日) ・総会等の打合せ、役員会性についての検討等</li> <li>5月 8日(金) ・会計監査</li> <li>5月13日(水) ・書面議決に關しての準備等</li> <li>5月25日(月) ・書面議決の結果報告及び資料送付</li> <li>9月5日(土) ・コロナを踏まえた今後の活動の見直し</li> <li>10月14日(水) ・地域支え合い推進会について地区別説明会の日程について</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月23日(土) ・校区内の取り組み状況について</li> <li>2月27日(土) ・今後の予定確認</li> </ul>
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	上下田代町(2回)、大畑町・柴笠(2回)、大野町(2回)、大畑麓町・小川内(1回) 上下東漆田町(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	大畑町・柴笠(1回)、大野町(1回)、大畑麓町・小川内(1回)
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月26日(土) 地域支え合い推進会活動報告、校区社協における位置づけについて 推進委員の選出について地域ごとの説明及び意見交換会の開催について</li> <li>10月17日(土) ・大畑町内、柴笠町内説明会 14名参加</li> <li>10月18日(日) ・大畑麓・小川内町内説明会 14名参加</li> <li>10月18日(日) ・上田代・下田代町内説明会 22名参加</li> <li>10月24日(土) ・大野町内説明会 16名参加</li> <li>10月25日(日) ・矢岳町内説明会 17名参加</li> <li>10月30日(金) ・上漆田町内説明会 19名参加</li> <li>11月 8日(日) ・下漆田・東漆田町内説明会 18名参加</li> </ul>
校区社協だより発行(2回)	7月1日(水)・2月1日(月)

## ⑤西瀬校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月26日(火) コロナ禍により中止、書面議決
役員会等	
監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月7日(火) ・総会の内容について協議</li> <li>4月13日(月) ・総会の内容について協議</li> <li>4月18日(土) ・会計監査</li> <li>4月30日(木) ・総会書面決議協議</li> <li>5月7日(木) ・総会書面決議協議</li> <li>5月12日(火) ・総会資料作成</li> <li>5月19日(火) ・総会書面決議協議</li> <li>5月23日(土) ・総会書面決議集計</li> <li>6月3日(水) ・生活支援事業協議</li> <li>6月15日(月) ・生活支援事業協議</li> <li>6月24日(水) ・生活支援事業協議</li> <li>8月14日(金) ・研修先協議</li> <li>10月23日(金) ・研修先協議</li> <li>12月16日(水) ・校区社協だより編集委員会</li> <li>1月26日(火) ・校区社協だより編集委員会 発行中止決定</li> <li>3月5日(金) ・事業報告協議</li> </ul>
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	下戸越町(2回)、下城本町(2回)、下薩摩瀬町(1回)、永野町(1回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	コロナ、7月豪雨災害の為中止

⑥中原校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月12日(火) コロナ禍により中止、書面議決
役員会等 監査 4月3日(金) 4月4日(土) 6月9日(火) 9月23日(水) 11月2日(月) 11月13日(金)	開催回数5回 ・会計監査 ・校区、支え合い部会三役会 コーディネーター配置について ・コーディネーター推薦について ・生活支援コーディネーター推薦 ・「元気だすばい・なかはら」イベント開催について ・「元気だすばい・なかはら」について
ネットワーク推進会議 (町内単位で開催)	中林町(2回)、下林町前村(1回)、中神町小柿(1回)、下原田町荒毛(1回) 下原田町嵯峨里(2回)、下原田町堀(2回)、下原田町西門(1回) 上原田町尾崎(1回)、上原田町菖蒲(1回)、上原田町尾曲(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	下原田町荒毛(1回)、下原田町堀(2回)、上原田町菖蒲(1回)
老人給食ボランティア 4月8日(水) 6月10日(水) 1月13日(水) 2月10日(水) 3月10日(水)	対象者数37名、ボランティア数15名 対象者数37名、ボランティア数15名 対象者数37名、ボランティア数13名 対象者数37名、ボランティア数17名 対象者数37名、ボランティア数14名 実施回数計5回、対象者計185名、ボランティア計74名
生活支援体制整備事業 4月10日(金) 5月15日(金) 6月12日(金) 10月16日(金) 10月26日(月) 11月6日(金) 11月6日(金) 11月20日(金) 11月20日(金) 11月27日(金) 11月29日(日) 12月2日(水) 12月11日(金) 1月7日(木) 1月15日(金) 1月26日(火) 2月5日(金) 2月24日(水) 3月5日(金) 3月15日(月) 3月29日(月)	・支え合い部会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会 ・支え合い部会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会役員会 ・「元気だすばい・なかはら」実行委員会、イベント内容の確認 ・支え合い部会役員会 ・「元気だすばい・なかはら」実行委員会、イベント内容の確認 ・「元気だすばい・なかはら」実行委員会、イベント内容最終確認 ・「元気だすばい・なかはら」イベント開催 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会役員会 ・支え合い部会 ・支え合い部会 ・支え合い部会役員会

⑦校区社協連絡協議会関係

行事名	主な内容
監査	4月6日(水) 会計監査
役員会3回 6月 8日(月) 11月 5日(火) 2月25日(火)	・事業報告、決算報告について ・社協長会議…助成金、負担金納入について、校区社協活動計画について ・各校区より事業の進捗状況報告、意見交換 ・第3次校区社協活動計画について ・ミニサロンのあり方について ・令和3年度事業計画(案)・予算(案)について ・各校区社協から諸報告書提出について
定例会2回 6月17日(水) 3月15日(月)	・各種報告書の書式について ・事業報告・決算、監査報告 ・生活支援体制整備事業令和2年度の推進体制について ・各校区活動進捗状況報告

## 2 小地域ネットワーク

各町内ごとに下記のネットワーク（見守り）対象者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、見守りの支え合い活動を行いました。

人口はR3年3月（市統計年鑑より）、ネット対象者数はR3年3月末現在（単位：人）

ネットワーク数	人口・割合				65歳以上		ネットワーク対象者		
	男	女	合計	割合	人口	割合	男	女	合計
東校区	3,768	4,548	8,316	26.7%	2,830	34.0%	55	203	258
西校区	2,400	2,891	5,291	17.0%	2,103	39.7%	34	106	140
東間校区	2,673	3,028	5,701	18.3%	2,065	36.2%	39	39	78
大畑校区	707	816	1,523	4.9%	688	45.2%	28	82	110
西瀬校区	2,020	2,305	4,325	13.9%	1,680	38.8%	37	84	121
中原校区	2,803	3,217	6,020	19.3%	2,236	37.1%	47	102	149
合計	14,371	16,805	31,176	-	11,602	37.2%	240	616	856

ネットワーク対象者は原則として、下記の中から特に見守りが必要な人とされる方です。

- 1 75歳以上の一人暮らし
- 2 高齢者のみ世帯（元気な場合概ね80歳以上、病気がち75歳以上）
- 3 3ヶ月以上の寝たきり高齢者
- 4 認知症及び認知症状がみられる者
- 5 昼間一人暮らし高齢者（概ね80歳以上）
- 6 障がい者等
- 7 町内の推進会議で見守りが必要と認められた人

## 3 ミニサロンの開催状況

ネットワーク対象者と援助者との交流の場として、町内単位で実施しました。

	人口 人	ネットワ-ク 対象者 人	ミニサロ ンの回数 回	対象者の 出席者数 人	援助者の 出席者数 人	出席者数 総数 人	1回平均 出席者数 人
東校区	8,316	258	3	28	17	45	15
西校区	5,291	140	2	90	14	104	52
東間校区	5,701	78	0	0	0	0	0
大畑校区	1,523	110	3	33	26	59	20
西瀬校区	4,325	121	2	90	14	104	52
中原校区	6,020	149	4	53	33	86	22
合計	31,176	856	14	294	104	398	28

## 4 給食ボランティア事業

75歳以上のひとり暮らしの高齢者で食事の準備に苦勞されている方や、重度の身体障害者の方等を対象に、訪問給食サービスを実施しました。配食を希望される方々からは大変評判もよく、毎回楽しみに待ってられます。また、地域のボランティアの方々の活躍の場ともなっています。

		4月	5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東間校区	回数	1						1	1	1	2	6
	対象者数	30						29	26	27	61	173
	V○数	16						13	11	12	28	80
中原校区	回数	1		1					1	1	1	5
	対象者数	37		37					37	37	37	185
	V○数	15		15					13	17	14	74
合計	回数	2		1				1	2	2	3	11
	対象者数	67		37				29	63	64	98	358
	V○数	31		15				13	24	29	42	154

## V 地域福祉事業の推進

### 1 安心生活応援団

地域住民が安心して暮らせるように、各事業所に協力いただき地域の方への声かけや、異変の発見など日常業務の範囲内で行っていただきました。小地域ネットワーク活動とあわせて、より重層的に見守りを行うことで、気になる世帯の発見や早期の対応につながりました。

また、応援団事業所の従業員向けに「はっぴー通信」を発行し、登録事業所の活動事例の紹介を行い、見守り活動に役立つ社会資源等の情報発信・啓発に努めました。

令和3年3月末現在の登録事業所数 151 件

### 2 買い物支援事業

近くに商店がない、交通手段がないなどの理由で買い物に困っている方を対象に、商店街と連携し、商品をお届けするサービスです。宅配だけを目的とせず、訪問時の声かけ・安否確認や困りごとの解消も行っています。

7月水害により連携していた店舗等が利用できなくなり、仕入れ方法、店舗等の変更を行いました。仮設住宅ヘチラシ等を配布し、事業の周知を行ないました。

#### 宅配サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	156	157	157	156	155	145	143	143	148	151	156	155	
利用者数	48	52	55	46	41	37	40	40	43	49	53	54	
宅配回数	170	168	203	139	138	125	148	129	147	143	155	206	1,871 回
見守り訪問	45	13	22	25	31	51	153	96	150	67	15	14	682 回

#### 【ちょっとしたお困りごとの件数と内容】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	8	10	3	5	9	10	12	8	12	9	14	106
内容	ゴミ出し、灯油入れ、携帯電話の操作確認・設定、郵便物の開封・投函、電話代行 食品トレーの回収、電池入れ、容器の蓋開け、家電の組み立て・操作確認、補聴器設定 寝具のカバーかけ、荷物届け、市役所へ書類提出、鍵穴の注油												

### 3 ふれあいサービス

地域住民参加型の在宅福祉有償サービスである「ふれあいサービス事業」は介護保険など公的サービスの補完的な役割を担っており、令和2年度利用利用会員は2名、協力会員は1名でした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス時間	4	5	6	3	6	0	0	4	0	1	0	0	29
回数	4	5	6	3	6	0	0	4	0	1	0	0	29
実利用者数	1	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	2
実協力者数	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1
サービス内容	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事

#### 4 ファミリーサポートセンター

令和3年3月31日現在の会員数は依頼会員75名、協力会員37名、両方会員3名、合計115名となる。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対する不安から、利用が減っています。ファミサポでは、市から新型コロナウイルス対策補助金を受け、備品の貸し出しなど感染症に対する対策を行っています。

##### 令和2年度活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	1	0	1	1	1	1	6	0	2	0	0	0	13
平日(回)	0	0	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0	6
土・日・祝日(回)	1	0	0	0	1	0	3	0	2	0	0	0	7
延べ時間(時間)	5.8	0	3.5	4.5	3	3	11.6	0	16	0	0	0	47.4
依頼会員数(実人数)	1	0	1	1	1	1	3	0	2	0	0	0	9
協力会員数(実人数)	1	0	1	1	1	1	3	0	2	0	0	0	5

#### 5 暮らし見守り相談員事業

前年度から続くコロナ、7月の豪雨災害という厳しい状況の中、懸命に訪問活動を続けられていますが相談員さん自身が被災され、担当町外に転居された為、訪問活動の継続が難しくなったり被災された方がどこに転居されたか分からないという声が多く聞かれ、訪問活動の課題となっています。

##### ①見守り活動件数

校区/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
東校区	184	238	29	48	47	44	223	241	225	205	230	214	1,928
西校区	148	190	139	140	108	132	130	130	131	120	118	121	1,607
東間校区	163	173	165	196	176	216	182	194	184	180	161	163	2,153
大畑校区	88	101	100	94	84	99	118	120	117	109	117	134	1,281
西瀬校区	126	145	101	107	85	99	123	129	128	108	81	86	1,318
中原校区	186	227	154	143	136	68	187	174	174	182	180	200	2,011
合計	895	1,074	688	728	636	658	963	988	959	904	887	918	10,298

※ 1ヶ月一人当りの平均活動件数：9.4件(前年13.3件)

##### ②連絡協議会の活動

期日	会議等	内容
4月2日	会計監査	会計監査
4月9日	第1回役員会	総会の内容確認、第1回全体研修会の内容検討
	総会(書面議決)	・令和元年度 事業報告・決算報告・監査報告について ・令和2年度 事業計画案・予算案について
6月11日	第2回役員会	・総会書面議決結果報告 ・全体研修について ・暮らし見守り相談員の適正配置について
6月19日	第1回理事会	第1回全体研修役割分担、各支部活動報告 暮らし見守り相談員アンケート結果について
12月10日	第3回役員会	各支部活動報告 暮らし見守り相談員一斉改選について
3月12日	第4回役員会	・令和3年度事業計画(案) ・各支部の活動報告
3月19日	第2回理事会	・令和3年度事業計画(案)、各支部活動報告



## 6 人吉市生活支援体制整備事業

### 【取り組みの概要】

コロナ禍による活動自粛が強られる中、豪雨災害により再び活動が停止するという事態になりました。その後しばらく活動できない状態が続きましたが、中原校区「元気出すパイ！なかはら」の開催、西校区「ニコニシ食堂」の再開等、地域主導・住民主体の活発な実践による災害校区としての被災者支援の活動が行われました。

また、東校区では協議体設置・校区生活支援コーディネーター配置・活動拠点の整備が完了し、住民主体の生活支援サービス構築への第一歩を進めることができました。

次年度は、未整備校区については整備完了を目指すと共に、各校区の特徴を生かした取り組みを推進していきます。

### ■ 令和2年度事業に係る主要取り組みの成果

圏域	区分	実施事項及び内容	摘要
第1層圏域事業	事業の 進捗管理 円滑・適正 推進への対応	<第1層協議体委員変更に伴う委嘱> * 6月1日：選出母体等の役員改選等による交代及び新たな団体等からの委員配置	* 新任委員 5名
		<第1層協議体の定期開催による適正事業の遂行> * 6月25日：第1回定例会議の開催 ・元年度事業報告及び令和2年度事業の推進について ・コロナ禍での事業推進の在り方について * 12月24日：第2回定例会議の開催 ・本年度事業の実施状況について ・7、4豪雨災害後の推進について	* 本年度以降の事業推進強化に向け新体制（SC配置）でスタート * 地域支え合いセンターとの緊密連携重視 災害時対応体制の整備
		<生活支援コーディネーター研修会等への出席> * コロナ禍による研修会中止及び自粛によりすべて不参加	* 本市SC相互の連携による情報交換、共有を図る
		<校区社協定例役員会等における報告、協議> * 6月17日：校区社協定例会にて本年度推進体制の説明 * 6月18日：民児協地域福祉部会にて一体的推進協議 * 6月19日：くらし見守り相談員理事会にて事業説明 * 3月15日：校区社協役員会にて今後の実施方向の説明	校区社協（推進母体）＝協議体であることの一体的推進が基本 ※人吉型の事業スタンス
		<三者（行政・包括・第1層SC）連絡会等の開催> * 4月28日：令和2年度推進体制及び事業計画協議 * 6月30日：社協間部門連携会による情報の提供、共有 <生活支援コーディネーター連携会議の開催> * 定例会：行政担当及び社協SC・校区SCによる月例会 毎月第3金曜日開催（場所⇒校区拠点輪番） <地域ケア会議への出席> * 定例会：行政主催会議（毎月第2水曜日）	* 豪雨災害発生による以降開催の停滞 * 情報交換・共有の場として定着（円滑化の促進） * 個別レベルの「地域別包括ケア会議」開催必須
		<災害ボランティアセンターとの連携> * 随時：集いの場（サロン会場）の整備、確保に関する連携、支援 <地域支え合いセンターとの連携> * 随時：被災者（仮設、在宅等生活者）に対する一体的支援の確立	* 地域住民との積極的調整役を担う（協働） * 効率的かつ迅速支援の促進、強化
	事業の 周知、啓発、 構築等に関する 研修会 説明会等の 実施	<コロナ禍における対応> * 4～5月：地域サロン活動団体に対する開催動向の把握及び開催要領（留意事項等）の周知、啓発 * 4～5月：各校区社協定時総会に係る書面決議開催の要領説明及び事務補助等の全般的支援 * 6月：サロン活動時等における消毒液担保の調整 購入難にあった必要消耗品として確保安定	* 対象者：23団体 ※適宜対応⇒消毒液配布 * 開催方向の初期調整（別紙添付）からの対応 * 民間事業者（高橋酒造）協議（寄贈依頼）
		<移動販売に関する調査研究（イスミ同行）> 6月24日：球磨村三ヶ浦地区活動状況視察、意見交換	協議体活動の原点確認（今後の身近な研修地）

	<p>&lt;災害による仮設住宅被災者等に対する移動支援の検討&gt;  11月4日：市担当課協議「行政主導による支援の在り方」  11月17日：市関係者協議「公共交通との連携について」  11月26日：市関係者と専門事業者との協議「意見交換会」  ※専門家による現地視察</p>	<p>移動・外出支援サービス構築に向けた意向確認</p>
<p>7.4 豪雨災害による事業の停滞・推進の自粛</p>	<p>一定期間の活動困難な状況が発生したことから、当面の活動として、主に災害ボランティアセンター業務に従事することで地域状況の実態把握等に努め、今後の対応、推進につなげた</p>	<p>7月～9月まで全面的に従事、以降は適宜な対応として年度末まで従事</p>

<p>第2層圏域事業</p>	<p>中原校区</p>	<p>&lt;年間の主な活動内容&gt;</p> <p>— コロナ禍での活動の一時自粛 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月10日：定例支え合い部会出席「新年度事業実施議」</li> <li>・4月24日：会長協議「校区社協総会の在り方検討」</li> <li>・5月7日：校区社協役員会「総会書面決議について」</li> <li>・5月15日：支え合い部会開催「活動内容の検討、調整」</li> <li>・5月27日：校区社協三役会「総会書面決議開催」</li> <li>・6月9日：校区社協三役会「今後の事業展開協議」</li> </ul> <p>— 7・4豪雨災害発生による活動の停滞 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月23日：協議体会議「今後の活動再開について協議」</li> <li>・10月1日：校区SC（迫氏）委嘱状交付</li> <li>・10月8日：支え合い部会役員会「部会協議事項の調整」</li> <li>・10月16日：支え合い部会「校区SC紹介、今後活動協議」</li> <li>・10月26日：支え合い部会役員会「福祉イベント開催協議」</li> <li>・11月2日：校区社協三役会「福祉イベント開催協議」</li> <li>・11月中（3回）：福祉イベント実行委員会「開催運営協議」</li> <li>・11月17日：地域支え合いセンター協議「福祉イベント支援」</li> <li>・11月29日：福祉イベント「元気出すバイ！なかはら」の開催</li> <li>・12月11日：支え合い部会開催「今後の活動協議」</li> <li>・通年：「支え合いセンターなかはらだより発行（6回）」</li> </ul> <p>— コロナ禍での活動の再自粛 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月11日：支え合い部会「新年度事業の活動協議」</li> </ul>	<p>主軸活動となる「困りごと生活応援団事業」の確立には至らなかったが、水害被災者に対する支援体制がどの校区よりも迅速に整い各種の充実対応が図られた。</p> <p>校区SCの機能的活動により地域の自立事業としての確立度が高く今後、生活応援団事業の安定遂行期待される。</p> <p>センターだよりの内容充実による情報提供が図られ、校区住民共通の理解、認識に寄与。</p> <p>※応援団事業活動保険保障内容充実に向けての対応必須</p>
	<p>大畑校区</p>	<p>&lt;年間の主な活動内容&gt;</p> <p>— コロナ禍での活動の一時自粛 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月15日：校区社協役員協議「校区社協総会開催調整」</li> <li>・4月21日：会長協議「総会監査の在り方（手法の検討）」</li> <li>・4月24日：会長協議「総会書面決議による開催について」</li> <li>・5月13日：校区社協役員会「総会書面決議開催について」</li> <li>・5月25日：校区社協役員会「書面決議内容の検討調整等」</li> <li>・5月30日：校区社協役員新旧合同役員会「事業総合調整」</li> <li>・6月9日：会長協議「地域別（個別）地域ケア会議の調整」</li> </ul> <p>— 7・4豪雨災害発生による活動の停滞 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月26日：協議体会議「今後の活動再開について協議」</li> <li>・10月14日：校区社協役員会「町内別座談会開催内容協議」</li> <li>・10月17日：大畑・柴笠地区座談会（土、10時～、14名）</li> <li>・10月18日：大畑麓・小川内地区座談会（日、10時～、14名）</li> <li>・10月18日：上・下田代地区座談会（日、13時～、22名）</li> <li>・10月24日：大野地区座談会（土、19時～、16名）</li> <li>・10月26日：矢岳地区座談会（日、13時～、18名）</li> <li>・10月30日：上漆田地区座談会（金、19時～、19名）</li> <li>・11月下・東漆田地区座談会（土、19時～、18名）</li> <li>・12月16日：事務局調整協議「今後の動向に係る町内支援」</li> </ul>	<p>町内単位による事業推進を柱に活動開始するも、多数の町内会長交代により再出発、結果的に、事業取組みの共通認識がより向上し発展的活動の基盤が強化され安定推進につながる。</p> <p>また、校区主体の取組み姿勢が促進され、今後の自主活動が期待される。</p>

第2層圏域事業		<p style="text-align: center;">— コロナ禍での活動の再自粛 —</p> <p>&lt;年間の主な活動内容&gt;</p> <p style="text-align: center;">— コロナ禍での活動の一時自粛 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月30日：会長協議「社協総会書面決議開催について」</li> <li>・5月12日：校区社協役員会「総会書面決議開催について」</li> <li>・5月14日：会長協議「書面決議内容の調整等」</li> <li>・6月11日：会長協議「第2回校区協議体会議の開催調整」</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 7. 4豪雨災害発生による活動の停滞 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月23日：校区社協役員会「今後の活動再開について協議」 ※年度内活動の休止を確認</li> <li>・12月16日：校区社協役員会「新年度活動に向けた協議」 ※早期の活動拠点確保、校区SC配置の検討</li> </ul> <p style="text-align: center;">— コロナ禍での活動の再自粛 —</p>	<p>協議体「支え合いにせげの会」活動に着手し、本格的始動期にあったが、コロナ禍及び特に水害（甚大な被害地域）により校区の環境が激変。すべての活動が休止せざるを得ない状況に。※年間を通し活動が停滞</p> <p>新年度、ゼロからの活動再開に向け準備から入る必要があり（支援）社協SCの係わりが肝要。※活動拠点の整備、校区SCの配置</p>
	西校区	<p>&lt;年間の主な活動状況&gt;</p> <p style="text-align: center;">— コロナ禍での活動の一時自粛 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月15日：校区社協役員会「総会書面決議開催について」</li> <li>・5月22日：校区社協役員会「書面決議内容の検討調整等」</li> <li>・5月29日：校区社協理事会「総会書面決議の開催審議」</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 7・4豪雨災害発生による事業の停滞 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月24日：校区社協役員会「今後の活動再開について協議」</li> <li>・10月2日：校区社協理事会「今後の活動について審議」</li> <li>・10～11月：活動拠点仮復旧「協議体委員、ボランティアにて」</li> <li>・11月14日：ニコニシ食堂活動再開「町内公民館活用」</li> <li>・11月26日：災害仮設避難者支援活動実施「弁当配食」</li> <li>・11月27日：ニコニカフェ活動再開「活動拠点にて」</li> <li>・12月10日：支え合い部会「年度内活動について協議」</li> </ul> <p style="text-align: center;">— コロナ禍での活動の再自粛 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月 日：ニコニシ食堂活動再々開「町内公民館活用」</li> </ul>	<p>本年度、目指した集いの場（お出かけサロン）、外出支援の整備、活動までの対応は困難であったが、原点にある地域主導、住民主体の活発な実践による災害校区としての充実した被災者支援の活動が行われた。新年度では次の段階へ移行する体制づくりの整備に努める。</p>
	東校区	<p>&lt;年間の主な活動状況&gt;</p> <p style="text-align: center;">— コロナ禍での活動の一時自粛 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月13日：事業進捗状況役員協議「今後の取組みについて」</li> <li>・4月21日：会長協議「会則の一部改正について」</li> <li>・4月30日：会長協議「社協総会書面決議開催について」</li> <li>・5月11日：校区社協役員会「総会書面決議について」</li> <li>・5月21日：校区社協三役会「個別事例地域ケア会議開催」</li> <li>・5月29日：校区社協三役会「活動拠点の整備について」</li> <li>・6月10日：会長協議「今後の具体的事業展開について」</li> <li>・6月15日：校区社協役員会「第1回協議体会議の日程協議」</li> <li>・6月25日：会長協議「協議体発会式の在り方について」</li> <li>・7月 2日：会長協議「協議体会議内容の確認」</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 7. 4合災害発生による事業の停滞 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 9日：第1回協議体会議開催</li> <li>・7月中：活動拠点（東小）の整備</li> <li>・8月 7日：協議体発会式（予定）</li> </ul> <p style="text-align: right;">すべて中止</p>	<p>年度目標に掲げた協議体設置・SC配置・活動拠点整備については完了したものの、活動の実践には至らず新年事業にて実質活動を開始する。</p>

- ・9月28日：校区社協役員会「今後の展開について協議」
- ・10月1日：校区SC（尾方氏）委嘱状交付
- ・10月7日：校区内仮設住宅の状況把握「問題、課題の抽出」
- ・10月19日：校区社協役員会「協議体会議開催の協議」
- ・10月27日：第1回協議体会議「校区社協役員合同会議」
- ・11月11日：校区福祉三者連絡会「協議体発会式協議」
- ・11月～3月：熊本学園大ボランティア（仮設サロン）との協働
- ・12月1日：会長協議「協議体発会式開催要領調整」
- ・12月11日：校区協議体発会式開催（中小企業大学校）  
  - ※講話「災害直後の地域福祉（益城社協尾方次長）」
  - コロナ禍での活動の再自粛 —
- ・1月～3月：活動拠点の整備「東小協議、必要備品類設置」
- ・3月15日：校区社協役員会「今後の活動及びイベント開催」
- ・3月27日：ノルディックウォー交流会開催相良護国神社

東間校区

<年間の主な活動状況>

- コロナ禍での活動の一時自粛 —
- ・5月11日：校区社協役員会「総会書面決議開催について」
- ・6月19日：校区社協役員会「協議体設置協議（浪床会館）」
- ・6月24日：会長協議「第2回協議体会議開催調整」
- 7. 4豪雨災害発生による活動の停滞 —
- ・9月24日：校区社協役員会「今後の展開について協議」  
  - ※年内の協議体発会式開催を計画（時期未定）
- ・10月30日：会長協議「活動拠点整備、校区SC配置方向」
- ・12月9日：（東間コミセン使用再開）
- ・12月21日：給食ボランティア活動再開の後方支援（協議体）
- コロナ禍での活動の再自粛 —
- ・3月17日：社会福祉法人施設協議「公益的事業実施の動向」  
  - ※モデル化実証事業としての先駆的取組み

活動拠点の未整備、校区SC選考難に起因する業進捗の停滞あり  
 今後は、年度末に活動拠点の目処も立ち、協議体組織の再編を踏まえ、校区SCの早期配置の下で実質ゼロからのスタートを目指す。  
 ※校区内の支援体制には連携があり円滑な遂行が期待される。

## 7 人吉球磨成年後見センター

本年度は令和3年度に予定されている中核機関設置に向けて準備を進めてきたところですが、コロナ感染症の影響から当初予定していた事業のほとんどを変更、中止せざるを得ませんでした。中核機関と役割と機能を果たすためには、人吉球磨圏域の関係機関・団体及び福祉医療法律等の各専門職との連携強化が急務であり、この観点から権利擁護ネットワークの構築を引き続き進めることにしています。成年後見人養成の修了者は9人でしたが、そのうち人材バンク登録者は1名でした。

### ○成年後見制度についての相談窓口、電話相談、訪問相談件数

来所	電話等	訪問	ケース会議	その他会議	研修会	計
140	1074	2045	4	0	0	3259

#### ・相談会（上半期）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
住宅・宅地・境界	0	0	0	0	1	1	2
家族	0	0	0	0	0	0	0
結婚・離婚	0	0	0	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0	0	0	0
遺言・相続・財産	0	0	2	1	0	3	6
消費者問題・債務	0	0	0	0	0	1	1
成年後見制度	1	0	2	0	1	0	4
その他	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	0	5	1	2	5	14

#### ・相談会（下半期）

相談内容	10月	11月	12月	1月	中止		合計	総計
					2月	3月		
住宅・宅地・境界	0	0	1	0	0	0	1	3
家族	0	0	0	0	0	0	0	0
結婚・離婚	0	0	0	0	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0	0	0	0	0
遺言・相続・財産	0	1	2	0	0	1	4	10
消費者問題・債務	1	1	1	0	0	1	4	5
成年後見制度	0	2	1	1	0	0	4	8
その他	1	0	0	0	0	0	1	2
合計	2	4	5	1	0	2	14	28

### ○法人後見事業

#### ・受任状況（令和3年3月31日時点）

類型	後見	保佐	補助	計
受任件数	67	7	0	74

#### ・新規受任、終了等（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

類型	後見	保佐	補助	終了
新規受任件数	5	2	0	7

#### ・市民後見人活動状況（令和2年4月～令和3年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
実人数	18	20	20	20	20	20	実人数	20
活動回数	24	76	80	77	81	94	合計	432

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期		年間合計	
実人数	21	20	21	18	20	21	実人数	21	実人数	21
活動回数	85	81	82	69	58	85	合計	460	合計	892

※法人後見受任可否決定に際し、法人後見受任審議会を計7回開催  
（構成：弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、行政、社協代表者等）

○ 市民後見人養成事業「Ⅰ講座基礎編」（14名申込、12名修了）※日程を再調整して実施した

12月12日（土）人吉市総合福祉センター 中会議室 8：30～17：10

科目	内容	講師等	単位（60分）
開校式 オリエンテーション	成年後見人養成講座開講の趣旨 及びカリキュラムについての説明	成年後見センター	0.5
2030年、人吉球磨の 様子はこう変わる	少子高齢化、人口減少等地域が抱える 現状と諸課題について	(株)くまもと健康支援研究所 代表取締役 松尾 洋	3
高齢者・障害者の人権	基本的人権 自己決定と自己責任 人権侵害	熊本県弁護士会 田上 裕輝	2
後見制度をめぐる法律	法律行為・契約、権利能力、意思能力 行為能力、代理、意思決定支援	熊本県弁護士会 田上 裕輝	2

12月13日（日）人吉市総合福祉センター 中会議室 8：30～15：30

科目	内容	講師等	単位（60分）
成年後見制度概論	後見制度の基本理念と制度の概要 法人後見と市民後見人	熊本県司法書士会 木村 円香	2
法定後見	法定後見とは	熊本県司法書士会 木村 円香	2
任意後見	任意後見とは	熊本県司法書士会 瀬高 輝大	2

○ 市民後見人養成事業「Ⅱ講座実践編」（15名申込、9名修了）※日程を再調整して実施した

12月19日（土）人吉市総合福祉センター 中会議室 8：30～15：30

科目	内容	講師等	単位（60分）
後見人と身上監護	成年後見人等の事務の範囲 後見人・保佐人・補助人の権限	熊本県社会福祉士会 田村 禎	2
財産管理の基本と 実務	財産管理についての基本的な考え方	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 硯川剛	2
家族法・財産法の基礎	親族法、相続法、財産法	熊本県弁護士会 益子 覚	2

12月20日（日）人吉市総合福祉センター 中会議室 8：30～15：30

科目	内容	講師等	単位（60分）
認知症についての 理解と支援	認知症についての正しい理解	医療法人精翠会 精神保健福祉士 宮原 淳	2
精神障害と知的障害 についての理解と支援	精神障害、知的障がいについての 正しい理解	医療法人精翠会 相談支援専門員 檜垣 俊介	2
「人生100年 あなたや身近な 方の老後の安心設計」任意後 見契約/保佐・補助について一 緒に考えてみませんか？	本人の意思決定への関わり方について の理解	一般社団法人 熊本県社会福祉士会 認定社会福祉士 紫藤千子	2

○ 市民後見人フォローアップ研修

10月1日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
保佐の代理権について	1.代理権と同意権 2.代理権付与（追加）の申立	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

11月5日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
保佐の代理権について（演習）	自己決定の尊重と代理権	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

12月3日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
時効について	1. 消滅時効 2. 時効の中断 3. 時効の援用	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

1月7日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
相続について	1. 相続人となる人 2. 遺産相続の3つの方法 3. 遺産相続の流れと必要な手続き	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

3月4日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
財産管理演習	1. 自宅の管理 2. 農地等の管理 3. 管理に係る親族や地域住民との関係	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

○ 普及・啓発

圏域医療・福祉専門職等研修 ※下記の計画をたてていたが、コロナ禍の影響により中止

市町村地域包括支援センターとの懇談会

日時	会場	内容
1月13日（水） 13：30～15：30	人吉市総合福祉センター中会議室	(1) 圏域各市町村の現状（実態把握） (2) 権利擁護に関する相談等の状況 (3) 成年後見制度に関する研修等の必要性 (4) 成年後見制度利用にあたってのガイドラインの作成について

法人後見推進研修会

以下の研修・視察は、7月の集中豪雨後の対応とコロナ禍の影響により中止

中核機関設置についての関係機関協議会

回	日時	会場	内容
1	6月18日（木） 14：00～	人吉市総合福祉センター 中会議室	(1) 人吉球磨成年後見センター概要及び後見センターからの要望 (2) 中核機関運営委託業務仕様書、積算書等について (3) 意見交換
2	3月18日（木） 14：00～	人吉市総合福祉センター 中会議室	(1) 令和2年度人吉球磨成年後見センター事業委託料、令和3年度人吉球磨成年後見センター事業委託料について (2) 人吉球磨成年後見センター運営業務仕様書について (3) 中核機関に係る協議

市町村消費者行政との懇談会 ※熊本県独自の緊急事態宣言発令のため中止

制度説明・普及啓発・相談業務

日時	会場	出席者	内容
12月3日（木）10：00～	あさぎり町高齢者コミュニティセンター「白寿荘」	球磨郡内各町村主任児童委員21名	権利擁護、成年後見制度の紹介

○ 市民後見人定例会 ※2月予定分は熊本県独自の緊急事態宣言発令のため中止

日時	会場	出席者	内容
毎月第一木曜日18：30～	人吉市総合福祉センター小会議室	21名	活動報告及び勉強会

○ 視察研修、出張講座、研修等

研修・視察は、7月の集中豪雨後の対応とコロナ禍の影響により当初計画を変更したが、中止となった。

○ 運営委員会（人吉市総合福祉センター）

回	日時	場所	議題
1	6月22日（月） 14：00～	中会議室	(1) 令和元年度事業報告及び決算報告について (2) 令和2年度事業計画及び予算について (3) 中核機関設立について
2	11月6日（金） 14：00～	中会議室	(1) 令和2年度事業の進捗状況について (2) 令和2年度の事業計画（変更計画）について

○ 参加した会議・研修等

日時	会場	内容
10月30日（金）13：30～	中小企業大学校 人吉校	中核機関についての研修

## 8 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業のニーズは年々高まっており、支援内容が複雑多様化する中で、困難事例も増加しています。また本事業は県社協からの委託事業となっていますが、具体的なサービス内容としては、その範囲を超えて対応せざるを得ない事例や債務整理など法的処理を必要とする事例も多くなってきています。さらに本人の意思能力の程度から成年後見制度への円滑な移行のための申立て支援等環境整備が急務となっています。

※契約数（令和3年3月31日現在）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
支援者数（人）	26	9	9	0	44

※生活支援員による支援回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
支援回数（回）	122	107	119	130	127	128	733

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間合計
支援回数（回）	146	133	127	126	128	119	779	1,512



## 9 生活困窮者自立相談支援事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染症と豪雨災害の影響がありました。下記の貸付相談と一体的に受付、貸付の条件にそぐわない方や複合的な課題をお持ちの方は支援計画をたてて、お手伝いをしてきました。

4月の支援調整会議は書面協議、7・8月は中止となりました。事業計画に上っていた「ひきこもり」支援について、サロンの設置等はできませんでしたが、従来通りの伴走型支援は展開しています。

### ○実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規受付	20	13	7	9	10	9	13	7	12	11	13	15	139
支援決定（プラン）	5	6	8	0	0	4	3	4	6	6	4	2	48
終結	3	3	2	0	0	3	8	3	3	5	4	4	38
住居確保給付金 ※1	1	1	4	0	0	2	0	1	2	1	2	1	15
家計改善支援事業 ※2	4	2	6	0	0	3	2	1	2	5	2	0	27
就労準備支援事業 ※3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
自立相談支援事業による就労支援	3	3	5	0	0	4	1	1	2	2	2	2	25
就労自立促進事業 ※4	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	0	6
小口福祉資金	2	1	0	1	0	0	1	1	0	2	1	2	11
レスキュー事業 ※5	0	1	0	0	1	3	0	0	1	0	1	2	9

※1 一時的に家賃相当額を支給する事業。

※2 家計の収支状況を確認し、可視化して今後の見通しを示す事業。

※3 すぐに就労することが困難な人に対して、就労に向けた支援や機会の提供を行う事業。

※4 ハローワークの就労支援担当者と連携して就職活動を行う事業。

※5 就職や生活保護で収入があるまでの間、日常生活費（光熱費等含む）を提供する事業。

## 10 生活福祉資金貸付

令和2年度は年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響による収入減となった世帯への特例貸付、緊急小口資金・総合支援資金の利用相談が多くあり、多くの方の申請手続きを行いました。借受てもなおも生活が安定せず、延長や再貸付に至る方もありました。

豪雨災害を受け、被災された方向けの緊急小口資金も開始されました。

新型コロナウイルスの終息が見込めない状況で、返済までの据置期間の延長や償還時に非課税世帯であれば免除申請できることが決定されています。

### ア. 令和2年度貸付決定状況（単位：円）

資金区分	件数	金額
総合支援資金	0	0
福祉資金	0	0
教育支援資金	0	0
不動産担保型生活資金	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	0	0

### イ. 令和2年度特例貸付申請状況（単位：円）

資金区分	件数	金額
緊急小口資金（コロナ）	157	26,800,000
総合支援資金（コロナ）	56	30,240,000
延長申請	19	9,840,000
再貸付	11	6,150,000
緊急小口資金（豪雨）	49	6,700,000
合計	292	79,730,000

### ウ. 償還状況

令和2年度末貸付件数	37件	
内訳	計画どおり	2件
	計画より遅い・滞納	35件
償還免除	0件	
保留中※	1件	
償還完了	2件	
令和2年度中償還あり	12件	
令和2年度中償還なし	27件	

R2年度償還計画（A） 18,028,848円  
 R2年度償還実績（B） 925,645円  
 差異（A-B） 17,103,203円

元金+貸付利子  
 元金+貸付利子  
 元金+貸付利子

## 11 小口福祉資金貸付

昨年度と比較すると微増傾向がありました。生活福祉資金の貸付相談が多く、コロナ・災害いずれも影響もない方が小口福祉資金の貸付の対象となりました。

償還者の傾向では比較的貸付をしてから日数が経っていない方の償還が多くありました。長期化するほど償還率が下がる傾向がありました。

本年度貸付（11件）	510,000円
本年度償還額	524,000円
本年度末未償還額	2,360,000円
督促状の発行 年1回（6月）	

## 12 社会福祉のつどい

市内の福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義を再確認し、今後の福祉のまちづくりに向けて意識を高めるとともに、多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々に感謝の意を表するため、つどいを開催するものです。

内 容	開催日 令和 年 月 日（ ）
	※ コロナ禍のため開催できませんでした。

## 13 地域支え合いセンター

令和2年7月豪雨災害に伴い、被災者の自立再建に向けた支援を行う「人吉市地域支え合いセンター」を11月から人吉市から受託し運営を行いました。活動実績は次の通りです。

### ①総合相談窓口・見守り活動・生活再建支援

建設型仮設住宅、市営住宅を担当する仮設班と在宅及び賃貸型みなし仮設を担当する在宅班の2つの班を構成し、2人一組で訪問活動を行いました。訪問対象世帯は、市が罹災証明を発行した全世帯で、市外みなし仮設については、コロナ禍ということもあり、広報誌及びアンケートを郵送して現状の把握に努めました。訪問時には情報提供、支援物資の配布なども行い、活動の中で課題が見つかった世帯に対しては、関係機関へのつなぎや、必要に応じてケース検討会議を開き、関係機関と連携した支援を行いました。

	支援対象世帯数	支援終了世帯	支援実施回数
建設型仮設住宅	354	0	1,548
みなし仮設	503	2	660
在宅	2,293	37	1,628
市営住宅	152	1	245
合計	3,302	40	4,081

令和3年3月末日現在

### ②コミュニティづくりのコーディネート

建設型仮設住宅においては、入居者同士のコミュニティづくりのためのサロン活動（オープンカフェ）を12月から開催しました。（1月は熊本県独自の緊急事態宣言の発出により中止）

内容：みんなの家及び集会所を解放した自由参加のお茶会

時間：10時30分～14時

会場：仮設住宅のみんなの家及び集会所

（西間第三、下原田第二、鬼木、川上球場除く）

回数：各会場月1回 延べ 28回

参加者数：延べ207人（仮設入居者のみ記載）

\*11月に食器の配布会を実施 13仮設 369人

### ③ボランティア団体との連絡調整

○支援物資を多くの団体から受け入れ、在宅、仮設と公平に配布しました。

○建設型仮設住宅におけるボランティアについては、コロナ禍でもあり三密が懸念されるようなイベント的な内容やボディータッチを伴うものはお断りしました。大学生主催のお茶会や地元団体の炊き出しなどが主でした。

受け入れ件数：延べ20件

内容：炊き出し、花植え、傾聴、お茶会

参加者数：329人

○熊本地震での経験から多くのボランティア団体から支援の相談があったことから、「被災者支援ボランティア連携会議」を2回開催し、情報共有や今後の活動について協議しました。16団体参加

#### ④関係機関との連携

○行政や専門機関、自治組織等の関係団体との情報共有、意見交換の場として運営会議を開催しました。

構成メンバー：市被災者支援対策課、市高齢者支援課、市福祉課、市保健センター、地域包括支援センター、県保健所、県健康福祉政策課、県防犯協会連合会、民生委員児童協議会、町内会長連合会、くらし見守り相談員連絡協議会、県弁護士会、県社協、県支え合いセンター支援事務所、支え合いセンターアドバイザー

内容：人吉市地域支え合いセンターの活動報告、各関係機関の取組状況の共有など

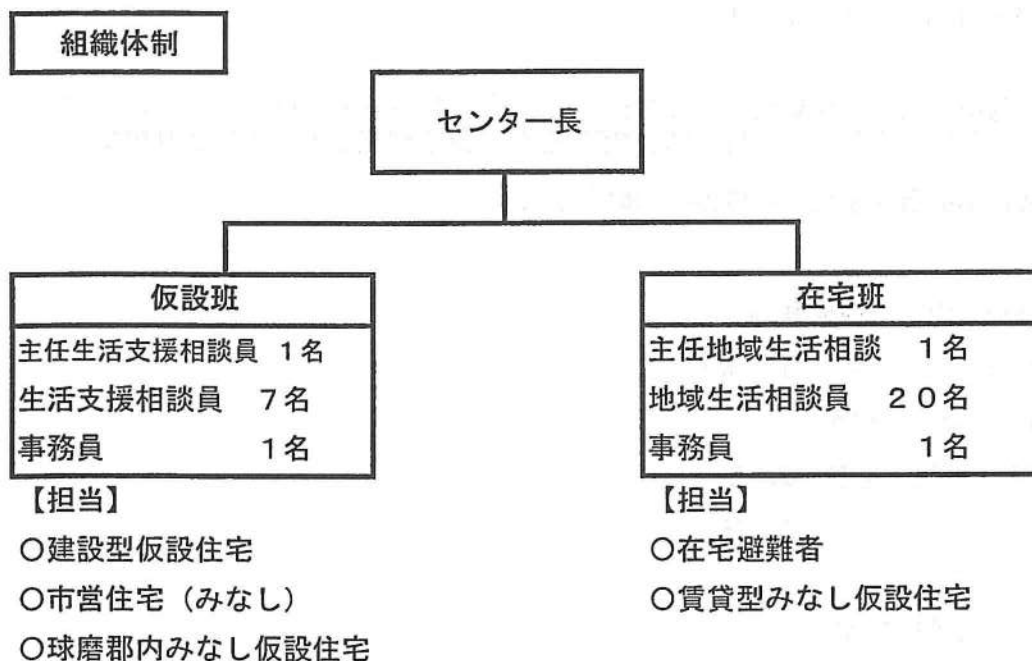
回数：月1回 計3回開催（1月は緊急事態宣言のため中止）

#### ○ケース検討会議

構成メンバー：市被災者支援対策課、市高齢者支援課、市福祉課、市保健センター、地域包括支援センター、県保健所、支え合いセンターアドバイザー

内容：事例検討 建設型仮設住宅入居者 2件

回数：1回（2月）



## Ⅶ ボランティア活動及び福祉教育の推進

### 1 児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進

#### ①令和2年度ボランティア協力校の状況

市内小・中・高等学校をボランティア協力校に指定。環境美化活動、リサイクル活動、募金活動などを実施し、豊かな心の育成に取り組んでいただきました。

#### 【人吉市社会福祉協議会指定校（11校）】

人吉市立人吉東小学校    人吉市立人吉西小学校    人吉市立西瀬小学校    人吉市立東間小学校  
人吉市立中原小学校    人吉市立大畑小学校    人吉市立第一中学校    人吉市立第二中学校  
人吉市立第三中学校    熊本県立人吉高等学校    熊本県立球磨工業高等学校

#### ②福祉教育出前講座の実施

令和2年11月26・30・ 12月8日	4年生 33名	①視覚障がいについて（白杖や視覚障がい者スポーツ、点字の学習等） ②聴覚障がいについて（手話の学習等） ③認知症サポーター養成講座・高齢者疑似体験・車椅子体験
西瀬小学校		

#### ③ボランティア体験事業 実績

- ・ボランティアスクール（対象児童：小学校6年生）  
新型コロナウイルス感染拡大防止、令和2年7月豪雨災害の影響により中止としました。
- ・福祉の職場体験事業（対象者：中学生以上）  
新型コロナウイルス感染拡大防止、令和2年7月豪雨災害の影響により中止としました。
- ・中高校生のための災害ボランティア講座（対象者：中学生以上）  
新型コロナウイルス感染拡大防止、令和2年7月豪雨災害の影響により中止としました。

### 2 ボランティアセンター登録状況

ボランティア団体登録数	46グループ	1,274名
個人ボランティア登録数		78名
ボランティアニーズ・相談数		2件
人吉市ボランティア連絡協議会	18グループ	226名

### 3 人吉市災害救援ボランティア養成事業

今年度は災害の経験から更なる災害ボランティアの確保を目指して、これまでの研修内容を見直して開催しました。本市で支援活動を行っている3つの団体を講師に迎え、これまでの全国各地の被災地での経験をもとに、災害ボランティアの役割や、今後の人吉に必要な支援についてご教示いただきました。

日 程	内 容
令和3年3月20日(土)  参加者51名 ZOOM配信 (会場：中小企業大学校)	①「人吉市災害ボランティアセンター活動報告」 発表者：人吉市災害ボランティアセンター 松岡 誠也 ②「被災者に寄り添う災害ボランティア」 講師：ピースポート災害支援センター 垣貫 紀彦 氏 ③地域力の大切さ～中長期の移行期～ 講師：災害NGO結 前原 土武 氏 ④まとめ ファシリテータ：にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 氏 ⑤団体紹介

### 4 球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練

令和2年7月豪雨災害と、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

### 5 災害ボランティアセンター

令和2年7月4日の豪雨により球磨川が氾濫し、市街地一帯をはじめ広範囲に大規模な災害が発生しました。それに伴い、7月10日に人吉市災害ボランティアセンターを設置し、住まいの応急復旧のための活動を開始しました。

- ・設置場所 : 東間コミュニティーセンター（蟹作町）  
12月以降は、西間下町の社協一帯に移転
- ・運営協力団体 : 熊本県社会福祉協議会、球磨郡社会福祉協議会連絡協議会、ライオンズクラブ  
人吉市災害救援ボランティアやませみ、ひとよし球磨青年会議所 ほか
- ・運営支援団体 : 災害NGO結、ピースポート
- ・ボランティア受入 : コロナ禍のため、熊本県内在住者に限定（後に九州に拡大した時期もある。）
- ・主な作業内容 : 住居内の泥だし・洗浄、浸水した家具・家財の運び出し、流れ込んだ災害ごみの運び出し 等
- ・活動経過 : 7月、8月は、毎日活動  
9月、10月、11月は、金曜日、土曜日、日曜日の週末3日活動  
12月以降は、土曜日、日曜日の週末2日活動  
その間、1月から2月前半までは、コロナ禍のため活動休止  
3月から災害復興ボランティアセンターへ移行

### 月 別 活 動 状 況

活動月	活動日数	ボランティア人数	1日当り人数	ニーズ受付件数	対応件数	完了件数
7月	20日	7,095人	355人	794件	611件	190件
8月	28日	7,231人	258人	129件	564件	268件
9月	10日	1,807人	181人	43件	116件	46件
10月	14日	1,106人	79人	60件	148件	99件
11月	13日	768人	59人	38件	140件	19件
12月	6日	455人	76人	18件	61件	25件
1月	0日	0人	0人	13件	0件	61件
2月	4日	132人	33人	10件	15件	5件
3月	7日	180人	26人	15件	28件	2件
合 計	102日	18,774人	184人	1,120件	1,683件	715件

※ 1月から2月前半までコロナ禍のため活動休止

## Ⅷ 在宅福祉サービス事業

### 1 デイサロン事業

介護予防や体力づくりに重点を置いた「あさデイ」と「デイサロン」を合わせて市内52会場で開催しました。水害で被災会場が使用できなくなり、コロナウイルスの影響で中止となるなど開催の回数は少なくなりました。外出の機会が減り他者との交流も減ったことで訪問し体調確認や宿題配布などで対応しました。

年月	開催回数	利用者数	平均利用者数	介護予防教室内容
令和2年4月	29	321	10.07	「こつこつ体操」 } 4月～3月まで ストレッチ、脳トレ等 } 毎月開催  介護予防生活機能評価測定  (実施期間…6月～3月)
5月	28	332	11.86	
6月	77	836	10.86	
7月	12	142	11.83	
8月	0	0	0.00	
9月	34	342	10.06	
10月	53	602	11.36	
11月	53	570	10.75	
12月	52	500	9.62	
令和3年1月	22	194	8.82	
2月	24	268	11.17	
3月	61	674	11.05	
合計	445	4,781	9.79	

### 2 地域包括支援センター

令和2年4月1日より地域における高齢者の総合相談と包括的支援体制を確立し高齢者が要介護状態になることの予防を推進するとともに、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のため、包括的支援業務を行うことを目的として人吉市から委託を受けました。

職員体制は保健師等、社会福祉士、主任ケアマネの3職種が6名、介護支援専門員4名、介護予防プランナー4名、事務職1名の計15名となっています。

#### ①総合相談支援（延べ件数）

	電話	来所	訪問	合計
総合相談支援業務関係	4,005	1,006	3,611	8,622
介護や介護保険等福祉に関する相談	1,437	391	1,105	2,933
健康や病気など保健、医療に関する相談	1,211	281	1,334	2,826
歯に関する相談	2	1	9	12
認知症に関する相談	367	145	359	871
その他の相談	988	188	804	1,980
権利擁護業務関係	68	25	53	146
高齢者虐待に関する相談	20	3	15	38
権利擁護・成年後見に関する相談	41	21	32	94
消費者被害に関する相談	7	1	6	14
包括的・継続的ケアマネジメント業務関係	77	20	37	134
介護支援専門員の個別指導・相談	38	9	8	55
支援困難事例等への相談	39	11	29	79
合計	4,150	1,051	3,701	8,902

#### ②介護予防給付業務及び介護予防ケアマネジメント業務（サービス計画書作成）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	53	53	57	50	51	62	70	73	81	82	78	89	799
要支援1	93	93	97	90	81	81	84	80	83	84	80	80	1,026
要支援2	67	70	67	63	62	59	58	64	61	64	62	66	763
合計	213	216	221	203	194	202	212	217	225	230	220	235	2,588

③認知症初期集中支援チーム員会議

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームの会議を月1回開催しました。

④介護者家族会

在宅で介護されている親族等が集まり介護に関する情報交換や研修会等を月1回開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止、水害により2回の開催になっています。

⑤介護支援専門員連絡会

2ヶ月に1回市内にある居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に相互の情報交換やネットワークの構築、また、介護支援専門員の資質向上、制度や施策などにに関する情報提供を行う機会として実施しました。

今年度は1回開催し、水害時の対応について情報交換を行いました。

⑥命のバトン事業

命のバトンは、高齢者や障がい者などの安全・安心を確保するため必要な情報を記載し、その情報書等を専用の容器に入れて冷蔵庫に保管することで万一の救急時に備えるものです。

現在の登録者数は、次のとおりです。

校 区	東	西	東間	大畑	西瀬	中原
登録者数(人)	458	375	342	172	236	338
合 計(人)	1,921					

⑦SOSキーホルダー事業

市内にお住いの高齢者の希望者にお渡ししている緑色のキーホルダーです。外出先での体調悪化や認知症の方の徘徊等されたときに、キーホルダーに記載された番号から本人の身元を確認し家族や関係者へつなぎます。

現在の登録者は3,382人です。

### 3 居宅介護支援事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
要介護1	33	33	30	29	27	25	26	26	25	24	23	27	85
要介護2	23	20	20	20	19	19	21	20	19	17	16	15	
要介護3	10	9	9	9	10	12	14	12	13	13	12	12	
要介護4	3	4	5	4	6	4	4	5	5	5	3	3	
要介護5	3	3	3	2	1	1	2	4	4	4	4	4	
合 計	72	69	67	64	63	61	67	67	66	63	58	61	

### 4 訪問介護事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
事業対象者	5	6	6	5	5	6	7	8	8	8	7	7	126
要支援1	16	15	14	10	10	11	13	13	12	12	10	10	
要支援2	12	11	10	11	6	7	8	10	9	9	9	10	
要介護1	25	25	28	28	25	21	23	23	24	23	22	23	
要介護2	23	23	23	19	16	17	16	16	17	15	14	14	
要介護3	9	9	9	5	5	5	6	5	6	6	6	6	
要介護4	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	
要介護5	2	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	
利用者数(人)	93	93	94	81	69	69	75	78	78	76	70	72	
保険外訪問	3	3	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0	
合計利用者数(人)	96	96	97	83	70	71	75	78	78	76	70	72	4



## 5 障害者総合支援法関係事業

### 居宅介護 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
区分1	1	1	1	0	1	1	1	2	2	2	2	2	29
区分2	7	8	7	7	6	6	6	8	10	9	8	10	
区分3	15	14	14	14	10	10	10	12	12	12	13	13	
区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	
区分5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
区分6	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	
利用者数(人)	27	25	25	24	20	20	19	25	28	27	26	28	

### 移動支援 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
利用者数(人)	8	7	7	5	5	6	6	7	7	8	6	8	11

## Ⅷ 共同募金

### 1 赤い羽根共同募金

7月に発生した未曾有の豪雨災害と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全市的な募金活動の展開は困難となり、設定した目標額には届かなかったものの、町内会長をはじめ、各種関係団体や民間事業所、行政機関等の協力を得て募金活動に取り組むことができました。

県目標額 1,800,000円      目標額 7,700,000円  
 合計目標額                    9,500,000円  
 実績額                            4,394,856円

単位：円

募金種別	募金額	内容
戸別・袋募金	2,108,107	戸別と袋を併せて行った
法人募金	434,735	市内の法人
職域募金	635,503	官公庁・企業の職員の方々
学校募金	113,004	各学校
大口募金	108,749	1件5,000円以上の寄付者
自動販売機	576,470	総合福祉センター、市役所別館、弓道場前駐車場 あやめ公園、石野公園、仮設住宅
その他	418,288	バッジ売り上げ、利息
合計	4,394,856	

※県共同募金会へ当年度募金額の全額を送金し、翌年度に配分される仕組み  
 令和元年度共同募金活動による令和2年度配分実績内訳

令和2年度配分金額                    6,578,327円

単位：円

区別	配分額	内訳
児童・青少年	206,668	ボランティア協力校活動助成金
	19,770	児童福祉部会
	91,100	福祉2団体助成金
高齢者福祉	781,181	ミニサロン事業助成金・参加者保険
	63,780	給食ボランティア事業助成金・保険
	650,000	老人クラブ（シルバーヘルパー事業）助成金
	380,000	小地域ネットワーク助成金
	4,480	福祉機器（車イス）修繕費 他
障害児・者福祉	101,760	福祉3団体助成金
福祉育成	377,899	表彰者消耗品、社協のしおり他
	937,200	社協だより発行
	360,000	校区社協だより助成金
	150,000	福祉2団体助成金
歳末たすけあい 配分金事業	875,330	歳末たすけあい見舞金品配分事業
合計	4,999,168	

## 2 歳末たすけあい運動

例年12月に実施している袋募金については、10月に実施している戸別募金と併せて11月に町内にご協力をお願いし、年度末までを募金期間として取り組みました。

### 第53回歳末たすけあい演芸会

新型コロナウイルス感染拡大を受け、第53回歳末たすけあい演芸会の開催を見送りました。

### 歳末たすけあい見舞い金品配分実績

項 目		金額	件数	合計金額
生活困窮世帯	1人	10,000円 ×	3件	30,000円
	2人	12,000円 ×	2件	24,000円
	3人	14,000円 ×	2件	28,000円
	4人	16,000円 ×	0件	0円
	5人	18,000円 ×	1件	18,000円
	6人	20,000円 ×	1件	20,000円
	8人	24,000円 ×	1件	24,000円
	小計			10件
生活困窮 ひとり親等児童扶養世帯	1人	5,000円 ×	7件	35,000円
	2人	7,000円 ×	5件	35,000円
	3人	9,000円 ×	3件	27,000円
	4人	11,000円 ×	2件	22,000円
	小計			17件
寝たきり高齢者介護世帯		12,000円 ×	29件	348,000円
認知症高齢者介護世帯		12,000円 ×	22件	264,000円
在宅75歳以上一人暮らし世帯		お手紙 ×	1,082件	0円
* 在宅84歳以上の方がいる世帯		お手紙 ×	1,171件	
在宅80歳以上の高齢者のみ世帯		お手紙 ×	121件	
	合計		2,452件	875,000円

\* 80歳以上の方の増加傾向に鑑み将来的には85歳以上の方がいる世帯とするため本年度は「84歳以上の方がいる世帯」としました。

\* 例年、在宅75歳以上一人暮らし世帯・在宅84歳以上の方がいる世帯・在宅80歳以上の高齢者のみ帯にはタオルを配分していましたが、今年度はあいさつ文の入ったお手紙のみ配分しました。

## IX その他の事業

### 1 人吉市総合福祉センター利用状況

社会福祉協議会をはじめ公共機関及び各種団体等の年間利用総数は384回となり、収入総額は165,770円でした。

(単位：円)

区分	使用回数	利用料	減免額	納入額	
社協	人吉市社会福祉協議会	226	673,110	673,110	0
	校区社会福祉協議会	25	61,825	60,500	1,325
	くらし見守り相談員連絡協議会	8	20,425	19,300	1,125
団体	人吉市民生委員児童委員協議会	51	167,900	158,800	9,100
	人吉市老人クラブ連合会	0	0	0	0
	人吉市子ども会育成連絡協議会	0	0	0	0
	人吉市保育園連盟	25	82,400	71,100	11,300
	人吉市遺族会	0	0	0	0
	人吉市ボランティア連絡協議会	6	13,750	12,500	1,250
	熊本県共同募金会 人吉市共同募金委員会	2	8,550	7,800	750
	社協関係ボランティア団体	0	0	0	0
	福祉関係団体等	5	14,000	12,500	1,500
	公共機関等(市内)	3	16,220	3,900	12,320
公共機関等(市外)	33	127,100	0	127,100	
合計	384	1,185,280	1,019,510	165,770	

### 2 介護用機器等の貸出

社協では、短期間での利用及び経済的理由での車椅子やベッドなどの7種類の介護機器等を最長3ヶ月間無料で貸出しました。本年度の延べ貸出件数は150件となっております。

	介護用機器等	件数		介護用機器等	件数
1	車イス	84件	5	歩行器	1件
2	ベッド	12件	6	押し車	5件
3	ポータブルトイレ	31件	7	チャイルドシート・ジュニアシート	4件
4	シャワーチェア	7件	8	松葉杖・杖	7件
合計(延べ件数)					151件

### 3 善意銀行

生活困窮者自立相談支援事業と連携し、生活困窮者支援のため預託金から食料品を購入しました。

預託金品等	件数	内訳
寄附金	6件	121,750円(内、野菜を貰い社協職員が買い取った寄付金2,750円を含む)
物品	54件	・扇風機 ・歩行器 ・自転車 ・ホットプレート ・紙オムツ ・尿取りパット ・防水シート・子供用紙オムツ ・ポータブルトイレ・シルバーカー ・チャイルドシート ・衣類・下着・布団・毛布・パジャマ・ストーブ ・ポリデント・食料品 ・タオル ・冷蔵庫 ・米 ・高濃度エタノール65度
計	60件	
払出金品等	件数	内訳
払出金	3件	フードバンク食品代 19,555円
物品	91件	・食料品 ・ランドセル ・介護用ベッド・ポータブルトイレ ・電気カーペット・石油ファンヒーター・杖
計	94件	

## 4 各種団体の事務局

### ①人吉市民生委員児童委員協議会

理事会（各単位民児協会長、副会長、主任児童委員代表）毎月1回

各単位民児協例会（4校区）毎月1回

各単位民児協宿泊研修（4校区）同行

各種研修準備・同行

※ コロナ禍のため実施できませんでした。

※ コロナ禍のため実施できませんでした。

### ②人吉市くらし見守り相談員連絡協議会

※詳細は12ページに記載。会議、研修会等の支援。

### ③人吉市校区社協連絡協議会

※詳細は6ページに記載。会議、研修会等の支援。

### ④熊本県共同募金会人吉市共同募金委員会

共同募金委員会の開催（年2回）

共同募金審査委員会の開催（年1回）

### ⑤人吉市ボランティア連絡協議会

総会、研修会の準備。五役会、役員会等への参加。

## X 資料

### 1 会費の実績

（単位：円）

会費の種類	令和元年度		令和2年度	
	件数	金額	件数	金額
普通会費 : 1戸 200円	12,008	2,401,600	12,111	2,422,200
賛助会費 : 1口 1,000円	4,788	4,947,000	3,618	3,805,000
特別会費 : 1人 10,000円	123	1,230,000	96	960,000
合計	16,919	8,578,600	15,825	7,187,200

### 2 寄附・香典返し

（単位：円）

	令和元年度		令和2年度	
	件数	金額	件数	金額
一般寄付金	46件	865,930	30件	293,155
香典返し寄付金	188件	3,494,000	199件	4,836,000
合計	234件	4,359,930	229件	5,129,155

### 3 団体等の受入

※ コロナ禍のため受入れはありませんでした。

年月日	訪問団体（個人）名	内容	人数

### 4 実習生の受入

※ コロナ禍のため受入れはありませんでした。

期間	日数	学校等	人数	実習の内容

